

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部
令和2年度 第1回代議員会 次第

日 時 : 令和2年4月26日(日)～5月6日(水)
場 所 : 学会支部ホームページ上資料にて開催

1. 議事録署名人選出

2. 確認事項

① 関東・甲信越支部 令和元年度 第3回代議員会議事録(資料1)

3. 報告事項

① 日本口腔インプラント学会 本会現況報告(資料2)

井汲 憲治 理事, 大久保力廣 理事, 田中譲治 理事, 矢島 安朝 理事,
築瀬 武史 理事, 塩田 真 専務理事, 宮崎 隆 理事長

② 第39回関東・甲信越支部学術大会開催報告 渡邊 文彦 大会長(資料3)

③ 第50回記念学術大会準備状況 井汲 憲治 大会長(資料4)

④ 第41回関東・甲信越支部学術大会進捗状況 萩原 芳幸 大会長(資料5)

⑤ 次期支部選出理事・支部長について 小森 規雄 選挙管理委員長(資料6)

⑥ 令和元年度支部学術賞受賞者について 尾関 雅彦 学術委員長(資料7)

⑦ 関東・甲信越支部次期執行方針に関して 築瀬 武史 次期支部長候補者(資料8)

⑧ その他

4. 審議事項

①令和元年度支部 事業報告書(案)について 井汲 憲治支部長(資料9)

②令和元年度支部 決算報告書(案)について 樋口 大輔 財務委員長(資料10)

③令和2年度支部 事業計画書(案)について 小田 茂 総務委員長(資料11)

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部
令和元年度 第3回代議員会議事録

日 時 : 令和2年1月26日(日) 13:30~15:30
場 所 : 東京グランドホテル 桜の間

出席者(65名):

委任状提出者(28名):

オブザーバー(6名):

1. 開会の辞: 塩田 真 副支部長より開会の挨拶があった。
2. 支部長挨拶: 井汲 憲治 支部長より挨拶がなされ、先にお亡くなりになった小嶋栄一先生へ黙祷を捧げた。
3. 指名点呼: 小田 茂 総務委員長より、代議員107名のうち出席者64名、委任状提出者28名、合計93名の過半数となり、代議員会は成立することが報告された。
4. 議長選出: 規定により、代居 敬先生と片山幸太郎先生が議長となる旨、了承された。
5. 議事録署名人選出: 議長一任となり、勝沼孝臣先生と小倉晋先生が推薦され、承認された。
6. 確認事項
 - ① 小田茂総務委員長より、関東・甲信越支部 令和元年度 第2回代議員会議事録について確認された。
7. 報告事項
 - ① 日本口腔インプラント学会 本会現況報告
宮崎 隆理事長: 現在、50周年記念誌を作成中であるが、そのなかで12月に開催した座談会では、故小嶋栄一先生から貴重なお話を聞く事ができ、今後、学会誌に掲載していく予定であること、会務は全体として順調に進んでいることが報告された。
「広告可能な専門医」取得に関しては、顎顔面インプラント学会と共同で作業を進めており、研修カリキュラム・必須カリキュラム・特別カリキュラムを作成していること、近く、専門医機構に提出し、審査を受ける段階まで来ている

ことが報告された。

井汲 憲治理事（総務担当）：総務・会則・表彰業務も担当しているが、委員会の中に戦略会議を設置しており、窪木研究推進委員長へガイドライン作成をお願いしていることが報告された。

大久保力廣理事（編集担当）：先日、第32巻4号が発刊されたこと、今号からQ&Aコーナーを設けていることが報告された。和文雑誌は編集委員の努力により9割の採択率となっていること、英文雑誌は前田先生が担当され、2割弱の採択率であること、本年6月にはインパクトファクターを取得できそうであることが報告された。

田中譲治理事（専門歯科衛生士担当）：来週末に行われる専門歯科衛生士試験は69名の受験予定であること、試験委員は3人体制になっていること、来年度の試験要項はもうすぐ、会告にできることが報告された。

矢島 安朝理事（学術担当）：50回大会では沢山のシンポジウムが企画されていること、顎顔面インプラント学会と一緒に、一つの専門医をつくることを目指して専門医機構と調整を進めていることが報告された。

塩田 真専務理事より

広報委員会：昨年1月からメールマガジンを配信していること、朝日出版と共同で国民向けの冊子を作成していることが報告された。

認定・試験委員会：1月12日・13日にケープレ試験・専門医試験・指導医試験が行われ、2月の理事会承認を待っている状態であることが報告された。

用語委員会：用語集第4版の発行にむけて改定作業が進んでいることが報告された。

国際委員会：海外のインプラント学会との提携として、現在のドイツ・タイに加え、インドネシアとの提携をすすめていることが報告された。

教育・研修委員会：研修カリキュラムの作成ならびに治療指針の改定作業が進んでいることが報告された。

医療・社会保険委員会：「インプラント治療とリスクマネジメント」は治療指針に含める形で改定されていることが報告された。

研究推進委員会：診療ガイドラインの作成作業が進んでいることが報告された。その他として、第51回大会（2021年）は広島での開催予定であること、昨年の台風等の激甚災害にあわれた会員へは会費免除等のサポートをすることが報告された。

② 第 10 回支部学術シンポジウム開催報告

田中讓治大会長より、8 月に開催された学術シンポジウムは全研修施設からの発表をお願いし、27 施設から 400 名以上の参加があったことが報告された。

③ 第 39 回関東・甲信越支部学術大会進捗状況

渡邊 文彦 大会長より、現在、600 名をこえる事前登録があること、今年は雪のない新潟となりそうであることが説明され、各施設の先生・代議員に対して学術大会への協力が要請された。

④ 第 11 回支部学術シンポジウム準備状況

小倉 晋 大会長から、2021 年 2 月 21 日（日）に日本歯科大学富士見ホールにおいて開催予定であることが報告された。

⑤ 第 50 回記念学術大会準備状況

井汲 憲治 大会長から、50 回記念大会はパシフィコノースで開催され、特別講演や各種シンポジウムが組まれていること、金曜日は記念式典ならびに祝賀会を予定していること、初めての試みとして金曜と日曜の 2 回の専門医教育講座が予定されていること等が報告された。

⑥ 第 41 回関東・甲信越支部学術大会進捗状況

萩原 芳幸 大会長から、京王プラザホテルでの開催を考え、2 月 5 日・6 日もしくは 2 月 26 日・27 日を仮予約していることが報告され、各大学入試や会計処理等の事情を考慮したうえで、決定することとなった。

⑦ その他

8. 審議事項

①次期支部選出代議員について

小森 規雄 選挙管理委員長より、資料 3 に示す 109 名の先生方を次期代議員として推薦したい旨が提案された。大学と臨床をはっきり区別すること、兼任の場合は臨床となること、各県から 1 名を選出するなど、本部からの指示に伴い選出されていることが報告された。審議のうえ、承認となった。

②次期支部選出理事の選出方法について

現在の選挙方法は、大学系 4 名・臨床系 3 名について、各代議員は 4 名ならびに 3 名に○をつけないと無効票となるが、一人一票を投じる方法や 4 名以内・3 名以内に○をつける方法などを検討すべきではないかとの意見が出され、様々な意見が発

言されたが、再選挙となりにくい方法を選択すべきであること、即座に変更するのは難しいのではないかとの意見に集約され、今回の選出方法については従来通りとし、今後については、次期支部長の元、作業部会にて検討してもらうことで承認された。小森委員長より、仮に同数であった場合の決定方法について検討してほしい旨が提案され、加藤仁夫監事より、同数なら「くじ引き」ということが提案され承認された。

②令和2年度支部予算（案）について

樋口 大輔 財務委員長より、来年度予算について説明があり、全員一致で承認された。

9. 閉会の辞：奥森 直人 副支部長より、閉会の挨拶があった。